

セカンドブック事業

1 活動の概要

「セカンドブック」はブックスタートのフォローアップ事業です。ブックスタートで始まった絵本との関わりをさらに継続していくため、市内在住の3歳児に絵本を配付し、本を通して親子でふれあう機会を提供するとともに家庭での親子の読書活動や子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけをつくり、自発的な読書活動につなげることを目的としている。



2 活動の状況、実際

【対象】 3歳児

【作品】 「からすのパンやさん」ほか4冊

【内容】

3歳ごろは、人生の中で最も絵本を楽しむことができる「読み聞かせの黄金期」と言われている。言葉を覚える時期でもあり、1冊聞き通す力も備わる時期でもある。この時期に読書の習慣を身につけ、より一層親子の絆を深めていきたいとの思いで、毎月、子育て支援拠点施設「にこっと」で行われている3歳6か月健康診査時に出向き、子ども自身で選んだ本をプレゼントしている。

また、絵本配付時には「おはなしボランティア」による読み聞かせコーナーを設け、ビック絵本などで読み聞かせを実施している。



3 参加者の声

【保護者の声】

- ・ふだんあまり絵本を読むことがないので、この機会に読んであげたいと思った。
- ・家や園にない本に触れあうことができた。
- ・絵本を買うことがなく、いつも図書館に借りに行っているが、無償でいただくことができて嬉しかった。
- ・健診の案内の中に今日もらえる絵本の紹介をしてくれていて、事前に親子で選ぶこともできてよかった。

